高齢者福祉施設等及び温浴施設のあり方について　① 温浴施設のあり方について

資料1

温浴施設のあり方についてのこれまでの経過

長寿の郷ロクハ荘となごみの郷は、県からの移管や建設から20年余り、高齢者を取り巻く社会的環境の変化を背景に、外出促進、交流機会の創出、生きがいづくりなどの高齢者の活動拠点として、より一層役割を果たすことが求められています。

高齢者福祉施設等全体のあり方の検討とともに、特に温浴施設機能について、「高齢者福祉施設等基礎調査」および「高齢者福祉施設等の温浴施設整備検討業務」の2つの調査結果を踏まえ検討を行いました。

◆ 文教厚生常任委員会協議会でいただいた温浴施設に関する主な意見

文教厚生常任委員会協議会への報告では、「温浴施設の強みを介護予防に有効活用してはどうか。」、「温浴施設と他の施設と連携した事業展開を図ってみてはどうか。」、「温浴施設の利用者拡大に向けた取り組みを検討してはどうか。」等の意見をいただきました。

◆あんしんいきいきプラン委員会でいただいた温浴施設に関する主な意見

文教厚生常任委員会協議会でいただいた意見をもとに、あんしんいきいきプラン委員会において、以下の比較検討資料を参考に意見をいただいたところ、「温浴施設を継続し、市民全体が利用できる、より充実したあり方を検討してはどうか。」、「温浴施設とその他の取り組みとがより連動して効果が出るような事業を展開してはどうか。」等の意見をいただきました。

	①温浴施設の継続	②温浴施設を機能転換	③温浴施設の大改修
概　要	適正なメンテナンス維持改修を継続し、温浴施設を継続する	温浴施設を機能転換し、（例）軽運動室を整備する	全面改修リニューアルを実施する
考え方	両施設とも施設利用者および温浴施設の利用者は減少傾向にあるが、施設来館目的の46.5%が温浴施設となっている。温浴施設の利用者の満足度は高くなっており、市民全体のアンケートでも、現状維持や充実を求める声は4割を占める結果から、ニーズは高いものと分析される。 整備検討業務結果から、施設は適切な管理ができており、今後も計画的な維持修繕を実施することで、現状維持が可能であること、ここ数年間での施設運営に支障があるような大きな不具合が想定しにくい現状にあり、現施設を有効活用できると考えている。	両施設とも施設利用者および温浴施設の利用者は減少傾向にあること、多額のランニングコストを要することから、温浴施設機能を廃止する。 温浴施設に代わる施設として多目的室（軽運動室）を整備し、健康づくりや介護予防機能の充実を図る。 転換後の活用案としては、健康器具やトレーナーを配置した機能訓練の実施、多世代が参加できるニュースポーツの会場、定期的な体力測定の実施、いきいき百歳体操サポーター養成の拠点などが考えられる。	両施設とも施設利用者および温浴施設の利用者は減少傾向にあるが、施設来館目的の46.5%が温浴施設となっており、温浴施設に対するニーズは高いものと分析される。また、施設の老朽化が進むなか、軽微な修繕が頻繁に必要となっている。 このことから、全面的に改修を行い、今後、更なる利用者ニーズおよび利用者の拡大を目指す。
メリット	現利用者ニーズが継続できる 現温浴施設の機能が有効活用できる 災害時の福祉避難所時の温浴施設機能の活用ができる	新たな運動機能の介護予防の展開が期待できる 維持管理費用の削減ができる	全面改修により利用者増が期待できる 現利用者ニーズが継続できる 災害時の福祉避難所時の温浴施設機能の活用ができる
デメリット	維持管理費用が継続する	施設利用者の減少が予測される	多額の投資費用、維持管理費がかかる
施設改修費（概算）	ランクA、B、機器更新の項目を計画的に実施 ロクハ荘　工事費　124，834千円 なごみの郷　工事費　126，074千円	温浴施設を改修し「多目的室（軽運動室）」を整備 ロクハ荘　工事費　72，820千円 なごみの郷　工事費　101，520千円	全面改修工事 ロクハ荘　工事費　316，164千円 なごみの郷　工事費　399，344千円

あんしんいきいきプラン委員会における検討の進め方

施設利用者の半数近くが温浴施設を目的に来館されており、アンケート調査においても、現状維持を求める意見が多くありました。また、施設の整備検討業務の結果から、施設は適切に管理できており、今後も計画的な維持修繕を実施することで、当面は有効活用することができる見込みであり、委員会等では、温浴施設機能を活用した事業展開の充実への意見が多数ありました。

あんしんいきいきプラン委員会においては、温浴施設は集客力が高く、高齢者の外出・交流や健康づくりへの動機付けとなっているという強みを活かし、介護予防や健康づくりをより一層進めるために、温浴施設は継続し有効的に活用しつつ、高齢者福祉施設等のあり方の検討を進めることとなりました。